

学ぶことは英語や文化だけじゃない！ 中学3年間の集大成となるオーストラリア語学研修

左から／青山隆希君、佐藤百恵さん、杉浦莉里香さん(いずれも高一)。青山君と杉浦さんは語学研修実行委員会としても活躍しました。



星城中学校

ADDRESS 〒470-1161
愛知県豊明市栄町新左山20

TEL 0562-97-3121(代)

ACCESS 最寄駅／名鉄名古屋本線「前後」駅より徒歩15分、
「前後」駅、地下鉄桜通線「徳重」駅よりシャトルバスを運行

**これまで培った英語力を試し、
新たな課題や目標が生まれる**

中1時から生徒全員で英検取得を目指し、ネイティブの教師による「英語講座」や高校生と一緒に参加できる海外研修を実施するなど、「英語教育」に力を入れている星城中学校。「ネイティブの先生と積極的に話すなど、英語力を高めることを目標にしてみました」と話すのは杉浦莉里香さん(高一)。3年間の集大成として、3年生は2月から3月にかけての17日間、オーストラリア語学研修へ出掛けました。

滞在中は姉妹校であるマウントクリア校の生徒と2人1組で「パディ」を組み、現地の授業を受けます。「ホストの方は簡単な言葉を選んでゆっくり話してくれるのですが、パディは日常通りに話すので聞き取るのが難しかったです」と振り返るのは青山隆希君(高一)。また、授業ではいろいろな用語が飛び交うので、佐藤百恵さん(高一)は「隣にいるパディにその都度教えてもらいました」と話し、「読み書きはこれまで頑張っていて勉強してきましたが、話す・聞くの力はまだまだだなと実感しました」と新たな課題を見つけたようです。「簡単な単語にもいろいろな意味があり、それらを組み合わせれば伝わるということがわかりました。単語量を増やすのはもち

ろんですが、もう一度簡単な単語から使い方を見直したいです」と青山君。

**言葉や文化に触れるだけでなく、
現地の問題を調査し、多くを学ぶ**

今回の語学研修は「探究活動」の一環でもあり、9月から準備を開始。「水」「教育」「自然環境」「医療」の4つの班に分かれ、オーストラリアが抱える問題や日本との違いについて現地を調査しました。杉浦さんは「医療」の中でも日本の「置き薬」はオーストラリアで実践できるかを調査。街の様子を実際に見て、ホストファミリーにも質問した結果、「オーストラリアでは労働時間が約7時間と定められているので、この広い土地で時間内に薬の配達訪問をするのは難しい」と一時は断念。しかし、「他に何かないかと考え、ホストに日本の薬局のポイント制度の話をする」と、それなら成功するだろうと言ってもらえ



研修から帰国後、自分たちが実際に見たことやホストファミリーに聞いたことを班でまとめ、オールイングリッシュで発表しました。

ました」と視点を変えて調査を継続。佐藤さんは「自然環境」から植物の外来種と在来種について調べるために、現地の植物園に見学へ。「インターネットで事前に調べたとき、外来種を悪いものとして排除しているイメージでしたが、植物園で栽培されているのはほとんどが外来種。ネットに頼るだけでなく、自分の目で見て感じるということが大切だと気づきました」とテーマ以外にも学んだことがあったそうです。帰国後、研修での調査結果をオールイングリッシュで全校生徒と保護者の前で発表した3人。これからは高校生としてこの経験を自信に、新たなステージに進みます。

INFORMATION

■星城中学校学校説明会

- 第1回 オープンスクール(授業体験)
6月22日(土) 9:00～
- 第2回 保護者対象学校説明会
8月31日(土) 13:00～
※星城大学名古屋丸の内キャンパスにて
- 第3回 オープンスクール(学園祭体験)
9月28日(土) 9:00～
- 第4回 オープンスクール(授業公開)
11月16日(土) 9:00～
- 第5回 入試説明会(算数プレテスト&入試アドバイス)
12月14日(土) 9:00～